

残すところ6試合！昇格圏内に入れるか

くプレイバック

後期5試合を消化し、残すところ6試合となった。1部昇格を1番の目標に戦ってきた駒大は、前期は3位という結果で後期に繋げた。総理大臣杯では3位と言う成績を収め、1部にも勝る実力を見せつけた。

昇格を目指すのに悪くない流れで後期を迎えたが、後期開幕の亜細亜戦でまさかの5失点を喫し、手痛いスタートとなった。次の平国大戦では勝利し勢いをつけたかったが、前期同点で終わった青学相手に3-2で敗北。次の、日大戦では2-1で勝利するものの得点は思うように伸びず。そして5試合目になる朝鮮大戦では先制点を奪うが、後半に入り、4失点を許してしまい2-4での節を終えた。

3試合敗戦の大量失点により、2位である桐蔭大との差は7点広がり、4位の法政大とは3点差と厳しい状況となってきた。

Pickup Player

選手紹介では、4年生たちが口を揃えて、後輩たちのために1部昇格をすることが役目であると話す。その想いも含め残り6試合昇格を目指して欲しい。

(4年MF 奥村情)



後期に入り、再びスタメンとしてピッチに立ち、5試合3ゴールを決めている。本人ももっと得点を取りたいと話す。残り6試合で桐蔭大との差を埋め、活躍して欲しい

(1年MF 久永翼)



朝鮮大戦で初スタメンとなったルーキー。「初スタメンで緊張した」と話すが、チャンスを作りチームに貢献。これからのプレーに注目した

監督 comment



朝鮮大戦を終えて・・・

粘れないというのは駄目ではないが、1点取られると負担になってしまうのか、重荷になってしまうのか、それを引きずってしまうというのがある。(失点について) 2点目は仕方ない。壁にあたって入ってしまったので3点目4点目は気持ちの問題だとおもう。人は居るわけだから。いい時はみんな声を出せるが、駄目になった時はベンチからしか出ない。ここ苦しいけど頑張ろうぜ、あと5分持ちこたえたら元に戻るぜというやつがない。(今後) 徹底してやることを共通の理解としてやり続けることが大事だと思う。